



令和7(2025)年12月25日  
杉並区総務部広報課

## 東京 2025 デフリンピック出場 亀澤理穂選手、伊藤碧紀選手が 区役所を訪問しました

11月に行われた「東京 2025 デフリンピック」に出場したデフ卓球の亀澤理穂選手<sup>かめざわ りほ</sup>、デフビーチバレーの伊藤碧紀選手<sup>いとうたまき</sup>が12月25日、杉並区役所を訪れ、岸本聰子区長に結果の報告を行いました。

亀澤選手、伊藤選手はともに杉並区出身。亀澤選手は、5度目のデフリンピックで、デフ卓球の混合ダブルス、女子ダブルス、女子シングルス、女子団体に出場し、悲願の金メダル獲得はなりませんでしたが、女子団体で銀メダルを勝ち取りました。初出場の伊藤選手は、デフビーチバレーで5位入賞を果たし、日本勢過去最高位の結果となりました。



2人は、大会前に行われたデフリンピック関連イベントにも多数参加し、デフリンピックやデフスポーツの普及・啓発に努めてきました。また、亀澤選手は今大会のポスターに起用され、デフリンピックの認知度向上にも尽力しました。2人の活動や活躍は、手話の普及や聴覚障害者への理解が深まることにもつながり、誰もが尊重し支え合える共生社会の実現に寄与します。

25日に区長のもとを訪れた亀澤選手、伊藤選手は、岸本区長と手話を交えて懇談しました。伊藤選手は「初出場で不安もあったが、たくさんの応援の声や拍手をもらい、応援が力になることを実感しました。」と振り返り、亀澤選手は「現地では杉並区の皆さんにも観戦してもらい、興味を持ってもらいました。手話の大切さや聴覚障害者への理解を深める機会となってよかったです。」と今大会の盛り上がりについて語りました。岸本区長は、「デフリンピックは、スポーツの素晴らしさだけでなく、手話をはじめとする多様なコミュニケーションの大切さを広く伝えてくれました。私自身、手話を学びたいという強い思いを持ちましたし、誰もが自然に気持ちを伝え合える地域づくりに向けて取り組んでいきたいと思っています。」と述べました。

### 【報道機関 問い合わせ先】

スポーツ振興課：03-3312-2111（内線1671）

広報課報道係：03-3312-2111（内線1574）